Japan Geoscience Union Meeting 2010

(May 23-28 2010 at Makuhari, Chiba, Japan)

©2009. Japan Geoscience Union. All Rights Reserved.



PEM034-04

会場: 303

時間: 5月27日16:09-16:22

太陽の2段階浮上磁場数値実験

Numerical experiments on the two-step flux emergence of the sun

鳥海 森1*, 横山 央明1

Shin Toriumi^{1*}, Takaaki Yokoyama¹

'東京大学大学院地球惑星科学専攻

¹University of Tokyo

太陽対流層からコロナへの磁束浮上の2次元MHD計算を行った。初期磁束シートは断熱成層した対流層の深さ2万kmに置かれており、Parker不安定性を生じさせるために擾乱を与えた。磁束は磁気浮力により太陽内部を浮上するが、等温成層(すなわち、対流安定)である光球付近で減速した。しかし、磁気圧勾配が増大するにつれ、磁束は局所的にParker不安定となり、コロナへの2段階目の浮上を示した。本講演では、ここに示した「2段階浮上」モデルに基づいた数値実験結果と、パラメータ研究の結果を報告する。

キーワード:太陽,磁場,太陽内部,光球,彩層,コロナ

Keywords: sun, magnetic field, solar interior, photosphere, chromosphere, corona